

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年1月7日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690400058
法人名	医療法人 厚生会
事業所名	グループホーム 宝寿庵
所在地	鹿児島県枕崎市寿町26番地1 (電話) 0993-72-0084
自己評価作成日	平成30年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年12月17日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が住み慣れた枕崎の地で、その人らしく普通に生活し、「今」を楽しみ、笑顔で暮らすことができるように、目と耳と心を最大限に活用した介護サービスの提供を、開業以来の理念に掲げ、利用者様第一主義をモットーに、日々介護・支援の質の向上に努めています。

利用者様の立場に立ち、利用者様のペースでゆっくり一緒に行動し、利用者様の尊厳を尊重し、気持ちに寄り添います。

当事業所では、利用者様に季節感を感じていただくことを目的として、季節に合ったイベントを開催しています。イベントにはご家族を招待し、希薄になりがちな利用者様とご家族の関わりを持つ機会を提供しています。また、各利用者様に担当職員を配置し、ケアマネージャーと共に介護計画の進捗状況を見守っています。2ヶ月ごとに各利用者様の担当職員が、生活の様子をまとめ、ご家族に書面にて報告しています。各利用者様とご家族の関わりは勿論のこと、ご家族と職員の間わりも大切にしています。また地域との関わりの中で、同地域の2つのグループホームと交流を持ち、お互いに交流会を行っております。利用者様同士がお知り合いの方がいらっしゃってなじみの関係を保っております。地域とのつながりについては子供会のラジオ体操をホーム内で行っていただいております。

医療面について、今年度から訪問看護ステーションとの業務委託を開始し、利用者様の健康状態の更なる維持向上を目指しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・利用者が地域でその人らしく今を楽しむことができるように支援している。
- ・自治会に加入し、地域行事の運動会や夏祭りに手作り灯籠を出したり、小学校の運動会に見物に出かけている。夏休みは事業所に子供が集まり朝のラジオ体操をしている。駐車場で太鼓を叩いたりボランティアのハーモニカ演奏や紙粘土の作成・絵手紙作り等が行われている。高校生の職場体験学習も受け入れて、日常的に地域と交流している。
- ・玄関は民芸風に作られ、壁には絵画が掛けてあり、フロアは広く天井も高い。複数ある長めのソファでゆったりくつろげるように配慮している。
- ・居室はフロアに面しており、職員が近くに居り、利用者は安心して過ごしている。職員も利用者の行動を把握しやすく迅速な対応ができています。
- ・管理者は、利用者及び家族に渡す資料を見やすく分かりやすいものに工夫している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念とケアの方針を介護の継続的な目標として、利用者第一を心がけている。理念とケアの方針はホール内の目に付く所に掲出し、就業時に各職員が確認し、朝の申し送り時にケアの方針を読み上げ、各職員が常に意識を持ち、日々実践している。職員会議等で普段のケアの振り返りを行い、つい業務に集中してしまうことがあるので、職員同士で声をかけをしながら、家庭的な環境づくり・利用者中心のケアの実践に取り組んでいる。	開設以来からの理念を大切にケアの実践をしている。理念はフロアに掲示し、利用者・訪問者の目にとまりやすく、どんな方針で仕事をしているのかわかりやすい。重要事項説明書やパンフレットにも掲載している。申し送り時に唱和し職員会議でケアの振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民館の自治会に加入し、地域の行事（六月灯など）には積極的に参加させていただいている。運営推進会議や「宝寿庵便り」などでホームの内容や介護に関する情報発信を行っている。ボランティア慰問や地域の子供会の夏休みラジオ体操の会場としてホールを開放し、交流は継続している。地域の太鼓踊りの奉納も外庭で行ってもらっている。昨年は高校の職場体験で実習生を受け入れている。今年も受け入れる予定である。	自治会に加入している。地域行事の運動会や夏祭りに手作り灯籠を出したり、小学校の運動会に見物に出かけている。夏休みは事業所に子供が集まり朝のラジオ体操をしている。駐車場で太鼓を叩いたりボランティアのハーモニカ演奏や紙粘土の作成・絵手紙作り等が行われている。利用者がいる。高校生の職場体験学習も受け入れて、日常的に地域と交流している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>当グループホームが地域の認知症対応の拠点となるべく、地域の地域密着型サービス事業所同士の会議に参加し、地域の課題を検討したり、管理者は認知症サポーター養成講座を受講し、地域の認知症に対する理解に努めている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>偶数月に開催しており、今年は運営推進会議の内容を一から見直し、事業所の現状報告、災害対策、ケアに関する議題等をこちらから積極的に投げかけ、活発な議事を心がけている。ご家族には年間6回中3回は必ず出席していただくようお願いしている。市福祉課、地域包括支援センター、他GH管理者、民生委員、ボランティア代表、地域住民の方など多方面の方に参加を呼びかけ、管理者も他GHの運営推進会議に参加し、意見交換を行っている。</p>	<p>定期的に会議を開催している。事業所から活動報告・感染予防・外部評価結果報告等について具体的に報告し活発な意見交換ができるようにしている。議題として骨折で退去した方の件で、入居時の状況説明や作業内容・声かけ方法等を話し合い、サービスに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>毎月、市福祉課と地域包括支援センターの担当者に、ホームの運営状況と待機者の報告を行っている。運営上の様々なことについて相談や指導を受け、連携を深めている。新規加算の取得についてもアドバイスを頂いている。</p>	<p>市福祉課の担当者は、運営推進会議に参加している。管理者は、事業所の報告や書類のために出向している。介護保険の新規加算など説明を受け運営に活かしている。自治体主催の研修会に参加し職員の共有を図っている。管理者は、人との連携を大事にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止の指針を作成し、管理者を中心に委員会を行っている。スピーチロックや言葉遣いについても改善されてきている。現場での気づきを職員会議の議題にあげて、話し合いを行っている。現在まで身体拘束ゼロを実践できている。</p>	<p>利用者の権利侵害を予防するために身体拘束廃止のマニュアルを整備し、事業所で勉強を行い、拘束ゼロに取り組んでいる。帰宅願望の強い利用者にはドライブに出かけたり、不安定な歩行や車いすの場合は転倒等の見守りを強化し、玄関の施錠はしていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人の勉強会に参加したり、職員会議で事例を用いて話し合っており、意識の向上に努めている。利用者様が何度も同じことを聞いてこられたり、同じことをされてもその都度対応することに心がけている。入浴時や更衣時に身体観察をさりげなく行い、異変・変調が見られたらその都度職員間で共有し、防止策を検討し対応しているが、その原因が不明で、予測を含めて予防策を講じている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度に関して、キーパーソンの方がご病気になられ、制度の対象となる可能性があるなど、制度利用が予想されるので、事業所としてアドバイスが出来るように勉強会等に参加し、理解に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用契約業務は管理者・総務が担当し、利用契約書をはじめ、必要書類を説明し、十分理解し、納得してもらった上で、契約している。重要事項説明書の改定に際しては、説明及び理解の上、同意書も作成している。入居日前に十分な時間を頂き、契約を行い、契約成立後に入居してもらうようにしている。その後の質問等にも誠意を持って対応している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族には面会時、運営推進会議時に日常生活の様子を報告し、意見・要望を聞くようにしている。外部に苦情・相談窓口として地域の方を3名依頼している。</p>	<p>日常の関わりの中で利用者とコミュニケーションをとり、表情やしぐさの変化で相手の気持ちを把握している。利用者への声かけを大事にしている。アンケートや地域の第三者委員・行政等へ意見を表せる機会を設けている。家族とは面会時や月に1回面談をしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝の申し送り時にミニカンファレンスを行い、ケアの振り返りを行っている。職員会議では全利用者の話し合いを行い、職員の意見を反映している。</p>	<p>職員の意見は気軽にいされ多くのアイデアや考えが話し合われている。ケアの改善や椅子・空気清浄器などの購入や気づきがあり、申し送りノートにも記入できるようにしている。職員は管理者との間に年間目標を決めて進捗状況を面談している。提案事項等は、職員会議で話し合っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務時間が偏らず、バランスのいい勤務体系になるようにしている。業務内容の変更や見直しについては、職員会議等で全職員の意見を聞き、合意を基本としている。職員の休憩スペースの確保が継続課題となっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>枕崎市・近隣地域の研修に積極的に参加し、各職員のスキル向上に努めている。研修の年間計画表を作成し、計画的に受講するようにしている。研修受講後は職員会議で伝達講習を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>毎年5月と10月に近隣グループホームとの交流会を計画し、利用者・職員の交流と意見交換を行っている。今年は合同の運動会を開催できた。また地域密着型サービス事業所の連絡会議に参加し、情報共有に努めている。今年度から訪問看護ステーションとの業務提携も開始している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>面会時にご家族や親戚、友人から利用者様の人となりをお聞かせをいただき、ケアに反映させている。利用者様が一方的に介護を受けるだけでなく、相互に影響しあえる関係になるように努めている。入居前に利用されていたサービスなどは前事業所から情報を得ている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時にご家族の思いや要望を十分聞くようにしている。入居後も面会時や、運営推進会議の中で議題にあげ、継続的な関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居申し込みの段階で、申込者がホームでの生活をきちんと理解してもらうようにしている。入居後には、入居前の環境を考慮し、写真等を用いて居室を自宅の雰囲気似せて、リロケーションダメージを極力受けないように努めている。利用者様個人に合わせたサービスを提供している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様に無理なく、生活してもらえるように本人のペースを大切にしている。食事で使用するおしぼり巻きや洗濯物たたみ、入浴準備など、それぞれの利用者様に合った出来ることを手伝ってもらっている。簡単な調理（もやしの根切り）や花の手入れなどは、職員と一緒にしてもらっている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>他科病院受診、衣替え、外出泊・外食などご家族の役割を再度確認し、協力を依頼している。運営推進会議には年間3回は参加してもらうように重要事項説明書に記載し説明している。各行事にはご家族の参加を呼びかけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ドライブ時に自宅や出身地周辺を周り、機会があれば身内や知人に会えるように支援している。また利用者様の希望があれば自宅への一時帰宅も支援している。理容はいきつけの理美容室に出かけるようにしている。電話や手紙で関係を継続している。</p>	<p>家族の面会が多く、居室に椅子を置きフロアにはソファが設置してある。外出希望も多く、ドライブや近くの神社参り・お墓参り・買い物等の支援をしている。年間行事で花見・ピクニック等、楽しい機会を作っている。地域の行事も希望者は参加している。家族も支援に協力している。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>難聴等もあり、職員が利用者様の間に入り、利用者様同士の会話の仲介になっている。利用者同士のいざごはさりげなく解決できるように気を付けている。レクリエーション時は、なるべく利用者様全員が参加できるようにしている。参加されない方は無理強いせず個別レクで対応している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>医療機関への入院や他施設への転居が主な契約終了の理由である。系列の医療機関や介護施設を紹介し、その後も先方と連携を取り、状況の把握に努めている。入院中も本人やご家族と面会し、相談や支援を継続している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常的に利用者の思いや希望の把握に努めている。希望の食事メニューはイベント時や誕生日会の時に提供している。なるべくご本人の希望に沿えるように支援している。	会話から暮らし方の意向を引き出せるようにしている。利用者及び家族は、その時々状況や要望に合わせて対応している。会話が困難な場合は家族などから思いや意向を聞き、職員で話し合い意向に沿って支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族に入居前の話聞き、また他施設利用があった場合は、先方の担当者へも聞き取りを行っている。ケアマネ・看護職員が担当し、既往歴と現状の確認も行っている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタル、排泄チェック、食事摂取量のチェックによる健康状態の把握を行っている。また、言動や表情に注意を払い、心身の状況把握にも努めている。入浴時に全身の状態観察をさりげなく行っている。訪問看護と連携し、健康状態の維持向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画の更新時には、職員から意見を聞き、介護計画に反映している。計画作成後は、全職員がその内容を確認し、情報を共有した上で、介護・支援に取り組んでいる。また利用者様に変化が生じた場合は、家族と相談し、介護計画を柔軟に変更している。</p>	<p>利用者の意向や家族の思いを聞き介護計画を作成している。日々のサービスを振り返り話し合いをしている。カンファレンスは職員会議で実施しモニタリングは毎月、担当者会議は更新前に家族も参加している。現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々のケア記録は、介護計画に沿ったものになるように計画書を確認しながら記入するようにしている。利用者様の小さな変化やご本人の言葉などを細かく記録するように心がけている。介護記録に関する研修を受講し、参考にしている。職員間で記録について話し合いを持っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>病院受診・美容室利用などは継続して行っている。ドライブ・花見・ピクニック・交流会などで楽しみが持てるようにしている。農作業などは高齢化で、転倒・急変の可能性があるため、職員が声をかけながら行い、見学してもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月、紙芝居の読み聞かせとハーモニカ演奏の慰問ボランティアを招き、認知症に理解のある方々との交流を行っている。また夏休みには子供会にラジオ体操の会場として施設を提供し、地域の子供たちとの交流も継続している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に事業所の協力医療機関への転院を勧めている。ケアマネ・看護職員が受診に立会い、医師と連携を取っている。同行後は、各職員に情報が確実に申し送られるようにしている。協力医療機関以外の他科受診はご家族の協力をお願いしている。	事業所の協力医療機関がかかりつけ医で受診支援を職員がしている。他科受診は家族の同行で受診している。医師とは、利用者・家族・職員で連携し適切な医療につながるように支援している。訪問看護師と契約し週1回健康測定と管理を依頼している。24時間医療体制も確保している。	
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	平成30年8月から同法人の「訪問看護ステーション立神」に業務委託し、ケアマネ・看護職員と連携して、利用者様の日常の健康管理を行っている。毎週水曜日にホームを訪問し、バイタルチェック・病状など日常生活の状況報告を行い連携を図っている。24時間の連絡体制を取り、緊急時の対応も行ってもらっている。受診以降はご家族との連絡・連携を事業所職員に代わり、専属的に行う契約になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院された場合は、数日おきに様子伺いに出向き、医師や担当看護師から状態を聞き、記録に残している。協力医療機関はもちろん、他病院とも管理者と看護職員が医療機関の地域連携室や担当看護師と連携し、状況の把握を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>平成30年8月に同法人の「訪問看護ステーション立神」に業務委託し、事業所の職員と連携して、利用者様の日常の健康管理を行っている。また利用者が重度化した場合の対応や、その際の医療機関やご家族との連絡・連携を事業所職員に代わり、専属的に行う契約になっている。</p>	<p>入居時に看取りについて説明し、意見要望書のアンケートに記入し同意を得ている。重度化になった場合は、再度説明し確認している。主治医と訪問看護ステーションとの連携を行い家族の協力がある中で段階的に話し合い家族からの合意をもらいながら看取りを進めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者が急変した場合は、救急車の要請を基本的な対応としている。利用者様の変調を早期に発見し、重度化する前に医療機関の受診を行っている。職員のほとんどが、病院及び介護事業所の経験者で、初期対応は習得している。AEDの講習も受講している。平成30年5月に転倒骨折事故が発生し、入院から退居になっている。その際も適切な対応が出来ていた。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>日勤帯と夜勤帯を想定した消火・避難訓練を年2回（7月・11月）実施している。利用者様の状況に合わせた避難方法が習得されている。事業所周辺に避難訓練への協力のお願いが継続課題である。実際の災害時には当ホームが避難所になることも想定して、飲料水や食料の備蓄品の確認も毎年行っている。</p>	<p>昼夜を想定した消火避難訓練を消防署の指導の下で実施している。公民館長の協力を得ている。避難の非常口も明示があり分かりやすい。災害時の飲料水・食料・懐中電灯・カセットコンロ等を多めに備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者様を介護の相手と捉えず、人生の先輩として接し、お一人お一人の話を聞き、尊厳を尊重している。勉強会や研修会等で、認識の習得は行われている。マニュアルも作成し、完備している。法人全体でプライバシー・個人情報保護に関してはマニュアルを作成しており、不定期だが職員会議の議題に挙げ、意識の統一を図っている。排泄や入浴時の声かけや対応には、さりげなく声かけしたり、同性介助をおこなったり、利用者様を傷つけないように十分注意を払っている。</p>	<p>一人ひとりの尊厳を尊重し、気持ちに寄り添った言葉かけや対応を心がけ、個人情報保護・プライバシー保護のマニュアルを整備している。職員会議で勉強会を行い、理解を深めている。トイレや入浴は、同性介護で安心につながるよう支援している。日常生活の中で本人の気持ちを優先し、自分の意志で行動を決めるように関わりをしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者様との関わりを通して、希望や要望を聞き出すように努め、「どうされますか？」と伺いを立てながら自己判断できるように支援している。利用者様の希望を優先し、介護・支援に反映させている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ある程度の一日のスケジュールは決まっているが、利用者様に希望を聞いて尊重している。高齢化してきているので、ゆっくりとした生活が出来るように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替えの時、ご自分で判断できる方には服を選んでもらっている。起床時の整容やトイレ誘導後の衣服の整えは、自力で行うことを優先し、必ずフォロー・確認するようにしている。出かける際はご本人や家族の希望を聞いて、着るものを選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	同法人の栄養士が作成した献立を参考にして提供している。利用者様の要望も適宜取り入れ、特に誕生日やイベント時にはその方の好きな食べ物を聞いて季節感にも配慮したメニューを入れている。職員は、食事時に利用者様の隣に座り一緒に食べている。簡単な調理（焼きそばなど）を職員と一緒に楽しみながら作ってもらっている。ご家族の協力を得て外食など食事を楽しめる工夫に努めている。	栄養士の献立を参考に専従の職員が利用者の食事形態に合わせた料理を作っている。利用者と一緒に食事作りに参加している。旬の食材を取り入れ、栄養バランスも考慮している。職員と一緒に食事をとり美味しく完食に近い形で食べている。誕生日食・花見弁当・外食など食事を楽しむ取り組みをしている。家族と一緒に外食に出かけることがある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各利用者様に合った食事量を提供し、水分補給にはお茶以外に10時には紅茶、14時には夏場はスポーツドリンク、おやつにゼリー等を提供し、飽きないように工夫している。居室にペットボトルを準備し、水分補給を行っている。脱水時には経口補水液を購入している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時のうがいから、毎食後の口腔ケア、義歯洗浄を一人ずつ職員が付き添い、ご利用者様の尊厳を尊重しながら、磨き残しがないように徹底して実施している。うがいにはお茶を準備し、必要な場合は洗口液や歯間ブラシなども使用し、口腔内の殺菌・ウイルス感染・肺炎予防に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表から個々の利用者様の排泄パターンを把握し、時間でトイレへの誘導を行っている。利用者様にあった排泄介護用品の検討を行っている。しかし今のところリハビリパンツを使用されている方が多い状況である。尿意、便意のある方は、ご本人の意思を優先し、失敗しないように自立に向けて支援している。失敗したときはさりげなく処理している。	排泄チェックリストを有効活用し、排泄パターンに応じたトイレ誘導をしている。職員は常に利用者の行動を把握している。利用者に適切な排泄用パット類の検討も行っている。自立度を低下させないように、持っている力を維持向上できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食で牛乳を提供し、ご飯をさつまいもご飯にしている。朝食後にはトイレ誘導し、排便の習慣を促している。必要に応じて腹部マッサージを実施している。食事には野菜を中心として繊維質のものを提供している。また体操やレクリエーション等の運動も取り入れ、下剤に頼らない便秘予防を心がけている。手術等の関係で下剤を掛けられない方に関しては体操などを促し、出るまで注意深く観察している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回、午後入浴を基本にしているが、利用者様の希望に沿っている。利用者様がゆっくりと入浴を楽しめるように浴槽に入られる方は時間をかけて支援している。便失禁された時のシャワー浴や入浴日以外の足浴も実施している。入浴拒否のある方については無理強いをせず時間を置いたり、声かけを工夫している。	入浴は、週3回午後を設定している。同性介護で支援している。利用者により足浴やシャワー浴も提供している。浴槽中心で入浴を楽しんでいる。入浴を嫌がる利用者へは、時間や声かけのタイミングで様子観察している。無理強いすることなく本人主体で対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜中よく眠れるように日中の活動量を多くしている。食後は横になりたい方、起きて過ごしたい方など希望に沿って対応している。就寝時間は個々に合わせて就寝してもらっている。眠れない方には夜勤者とお話をしたり、利用者様が希望される可能な範囲の飲食をしてもらい、安心して眠れるように支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医から処方された薬のみを与えている。投薬に変更がある場合は、職員間で確実に申し送りが行われ、看護職員からの説明も実施される。薬の内容に関してはお薬手帳や薬状から、効能、副作用等も確認している。与薬時は薬袋に書かれている名前と飲む時間を必ず確認し、確実に全部飲み込むまで確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>職員が買い物時に利用者様の食べたい物の希望を聞き、買ってくるようにしている。地域のグランドゴルフ大会に参加される利用者もいる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>病院受診後に自宅周辺をドライブしたり、ホーム近隣を散歩している。利用者様から外出、外食の希望がある場合は、ご家族に相談し、協力をお願いしている。気候の良い時期に合わせて、ピクニックやGH交流会など外出の機会を作っている。</p>	<p>事業所周辺の散歩や庭が広く芝生もあり日常的に散歩している。買い物・ドライブ・お墓参り・花見・ピクニック・地域の行事等に参加し、外出支援をしている。利用者の希望で家族に相談し支援に協力してもらっている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居時にご家族と相談の上、原則利用者様は現金を持たないようにしている。個人購入等に関しては、事業所が仮払いしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様に希望に応じて、電話や手紙の支援は出来ている。携帯電話を持ってきている方もいらっしゃる。毎年、ご家族への年賀状は書いてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室、共有スペース共にゆとりある空間を設けてあり、利用者様の歩行や行動の支障となるものは出来る限り置かないようにしている。日当たりのいいリビングでは陽光を感じ、季節ごとに植栽を植え替え、季節を感じてもらえるように工夫している。</p>	<p>共用空間は、天井が高く日当たりもよく明るい。刺激臭などもなく清潔感がある。玄関には絵画が掛けてあり、季節の花や利用者の作品を飾り生活感を取り入れている。大型テレビも2台置いてあり好きなチャンネルを見ることができる。ソファがあり、落ち着いた雰囲気の中でゆったりとくつろいでいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングが広く、利用者様が一同に会するスペースが確保されている。ホールも余裕のあるスペースが確保されており、職員の見守りの下、一人になれる空間がある。全ての居室がホールに面しており、居室で過ごす場合も安全は確保されている。レクリエーションやテレビ観賞など皆さんで集まる時間も作り、一人の時間も持ってもらい大切にしている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は電動ベッドや洗面台・クローゼットが備えられ、寝具は毛布以外はリースで清潔が保たれている。利用者様が在宅時に使用してらっしゃった馴染みのダンスを持ち込んでいる。ご家族の写真を飾る方もおり、利用者様とご家族の思いが漂う居室の利用を支援している。</p>	<p>居室は、洋室と畳の部屋があり電動ベッドやクローゼット・椅子・洗面台が設置され、利用者は、毛布や家族写真・小物・タンス等を持ち込んでいる。居室は清潔で整理整頓されている。将棋・新聞・裁縫など、本人が自由に居心地よく過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>支援や介助を強化しつつ、その方のできる事を見つけ「お手伝いをお願いします」と声かけし、職員と一緒に簡単な作業を行ってもらっている。安全面を考慮し、座位での作業（おしぼり巻き、洗濯物たたみ、ちり箱作り）などを行ってもらっている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない